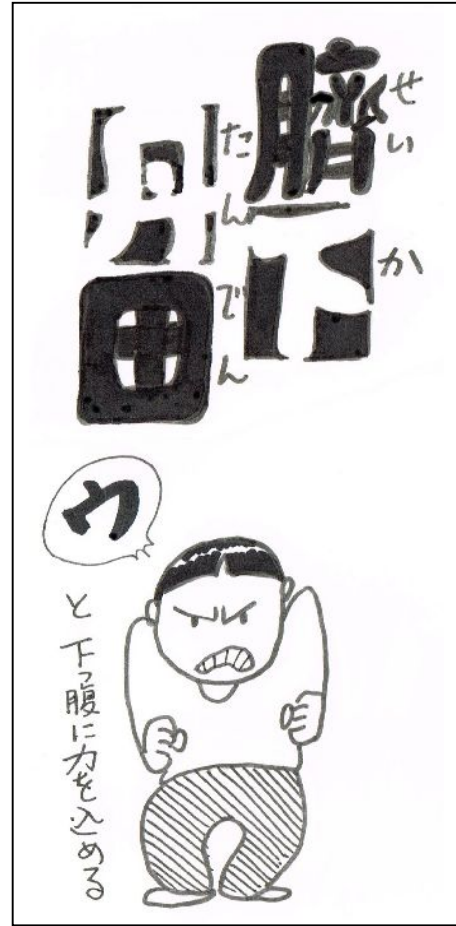


先週の回答



「ママがパパより強いのは何ですか？」
 「臍下丹田（せいかたんでん）に力を入れるからだ」
 「何ですか？それ」
 「へソ下9センチの丹田には虫が棲んでいるんだ」
 「虫が？どんな虫ですか」
 「その虫が起きると元気が出る。体じゅうに覇気が漲るといわれている。腹が座るとか、腹をくくるとか、腹が太い。腹を固めたり決めたりするのは、そのへソ下9センチ（臍下）に力を入れて丹田の虫を起こすからだ」
 「すると、いざ勝負という時は下っ腹に力を入れて取り掛かれというのは、その虫を起こせということなんですかね？」

「そのとおり。下っ腹に力を入れて気合を発すれば、まずどんなことにも打ち勝つ。ママのように」
 「わかりました。下っ腹に力を込めて明日の苦手な算数のテストに臨みます。百点まちがいなしですね」
 「下っ腹に力を入れただけでは百点は取れない。勉強しなくては」
 「勉強が必要なんですか。だったら下っ腹に力を入れようが入れまいが関係ないじゃないですか」
 「テストには関係ない」
 「何に関係あるんですか？」
 「だからテスト以外の難題や危険に立ち向かう時だ」
 「すると明日、テストの後にクラスの田中と一対一で決闘することになりますますが」

「決闘に勝つには臍下丹田の虫を起こした方が勝つに決まっている」
 「よし、下っ腹に力を入れて臨みます」
 「何で決闘するんだ？」
 「恋仇だからです」
 「で、相手の田中は強いのか？」
 「柔道三段、合気道初段です」
 「棄権しろ」



